

# コンクリート中の配筋探査講習会 実施要領



一般社団法人 **日本非破壊検査工業会**

The Japanese Association for Non-destructive Testing Industry

**教育講習部会**

## コンクリート中の配筋探査講習会実施要領

### 1. 適用範囲

本要領は、一般社団法人 日本非破壊検査工業会（以下、「工業会」という）が実施する「コンクリート中の配筋探査講習会」（以下、「講習会」という）に適用する。

### 2. 目的

本要領は、工業会検規－6501「コンクリート構造物の配筋探査技術者認証規準」の5.1項受験資格の(1)項に定める工業会が主催する「コンクリート中の配筋探査講習会」を適切に行うことを目的とする。

### 3. 講習会の開催場所・開催日

#### 3.1 開催場所

講習会は、原則として東日本地区・関西地区・西日本地区の3地区において開催する。実施場所は別途定め、工業会ホームページに掲載する。

#### 3.2 開催日

講習会の開催は原則として前期・後期の2回/年とし、開催日を地区ごとに別途定め、工業会ホームページに掲載する。

### 4. 募集

#### 4.1 募集定員

講習会の募集人員は、地区ごとに別途定め、工業会ホームページの募集案内に掲載する。

#### 4.2 募集方法

①講習会の申込は、工業会のホームページに掲載した開催案内に基づき、ホームページ上から実施する。

②講習会は、当初予定の開催が困難な事情が発生した、応募者が非常に少ないなどの特別な事情ができた場合は、開催を中止するなどの調整をすることがある。

#### 4.3 受講料

受講料は別途定め、工業会ホームページの募集案内に掲載する。

### 5. 講習会の内容

#### 5.1 講習会の種類と受験資格

##### (1) 講習会の種類

①配筋探査講習会：工業会が作成したテキストにより、コンクリート構造物の配筋探査を行うために必要な知識に関する学科講習を行う。

②配筋探査実技講習会：資格認証学科試験の合格者及び再試験対象者に対して、配筋探査の技術レベルの向上を目的とした実技講習を行う。

(2) 受験資格

工業会検規－6501「コンクリート構造物の配筋探査技術者認証規準」の、5.1項に定める受験資格となる“受験資格証”は、“配筋探査講習会”の受講者に対して与えられる。

(3) “配筋探査実技講習会”は、前(2)項に記述する受験資格とは別の講習会として取り扱う。なお、この講習会は、別に定める「配筋探査実技講習会実施要領」により実施する。

5.2 配筋探査講習会の講習内容

講習会は1日で行う学科講習とし、次の事項について実施する。

- ① コンクリート構造物の現状と課題に関する知識
- ② コンクリート構造物の基礎知識
- ③ コンクリート構造物の非破壊検査の知識
- ④ 非破壊検査によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領に関する知識
- ⑤ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事及び JASS 5 T-608 に関する知識
- ⑥ 電磁波レーダ法に関する知識
- ⑦ 電磁誘導法に関する知識
- ⑧ 探査装置に関する知識
- ⑨ コンクリート診断技術の基礎知識
- ⑩ 安全及び災害防止に関する知識
- ⑪ その他、関連事項

5.3 配筋探査講習会の基本スケジュール

基本スケジュールは、講義内容と時間配分の基本を定め、別紙に示す。

6. 受験資格証の発行

- (1) 配筋探査講習会受講者には、“受験資格証”（発行日は講習会の実施日とする）を発行する。
- (2) “受験資格証”の有効期間は、講習会直近の学科試験から連続2回の学科試験申込までとする。

7. 教育訓練記録の発行

配筋探査講習会受講者に対して“教育訓練記録”（有効期限：5年）を発行する。

以上

別 紙

配筋探査講習会の基本スケジュール

時 間		内 容
9 : 1 5 ~ 9 : 2 0	5 分	主催者挨拶、オリエンテーション
9 : 2 0 ~ 9 : 5 0	30 分	コンクリート構造物の非破壊検査の現状と課題
9 : 5 0 ~ 1 1 : 0 0	70 分	コンクリート構造物の基礎知識(1)
1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 1 0	10 分	休憩
1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 3 0	80 分	コンクリート構造物の基礎知識(2)
1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 2 0	50 分	昼食・休憩
1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 0 0	40 分	安全・衛生、探査機器の定期校正・点検及び報告書の作成要領 コンクリートの非破壊検査の基礎知識
1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 1 0	10 分	休憩
1 4 : 1 0 ~ 1 5 : 2 0	70 分	電磁誘導法について(演習問題を含む)
1 5 : 2 0 ~ 1 5 : 3 0	10 分	休憩
1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0	90 分	電磁波レーダ法について(演習問題を含む)

備考：本スケジュールは、開催地や会場などにより変更することがある。